



51 院内案内の表示言語数(日本語を除く)

解説	外国人患者受入に関する体制を整備していることを示す指標です。医学部附属病院、歯学部附属病院ともに中央値が1.00となっておりますが、医学部附属病院で最大値4と複数の外国言語の案内表示を行っている大学もあります。 なお、今回平成28年度より新規に調査を行ったため、平成28年度の数値のみを提示しております。												
実績	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>表示言語数(力国語)</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成24年度</td><td>0</td></tr><tr><td>平成25年度</td><td>0</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>0</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>0</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>1</td></tr></tbody></table>	年度	表示言語数(力国語)	平成24年度	0	平成25年度	0	平成26年度	0	平成27年度	0	平成28年度	1
年度	表示言語数(力国語)												
平成24年度	0												
平成25年度	0												
平成26年度	0												
平成27年度	0												
平成28年度	1												
定義	各年6月1日時点での、院内案内の表示言語数です。院内案内とは、案内板や看板によるものを指します。 なお、中国のように北京語、広東語など複数の言語を使用する場合でも、言語数は1(中国語)でカウントしています。												